

資料 9

流山市調査票のイメージ ～小学生用～

- 調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定

回答するに当たってお読みください

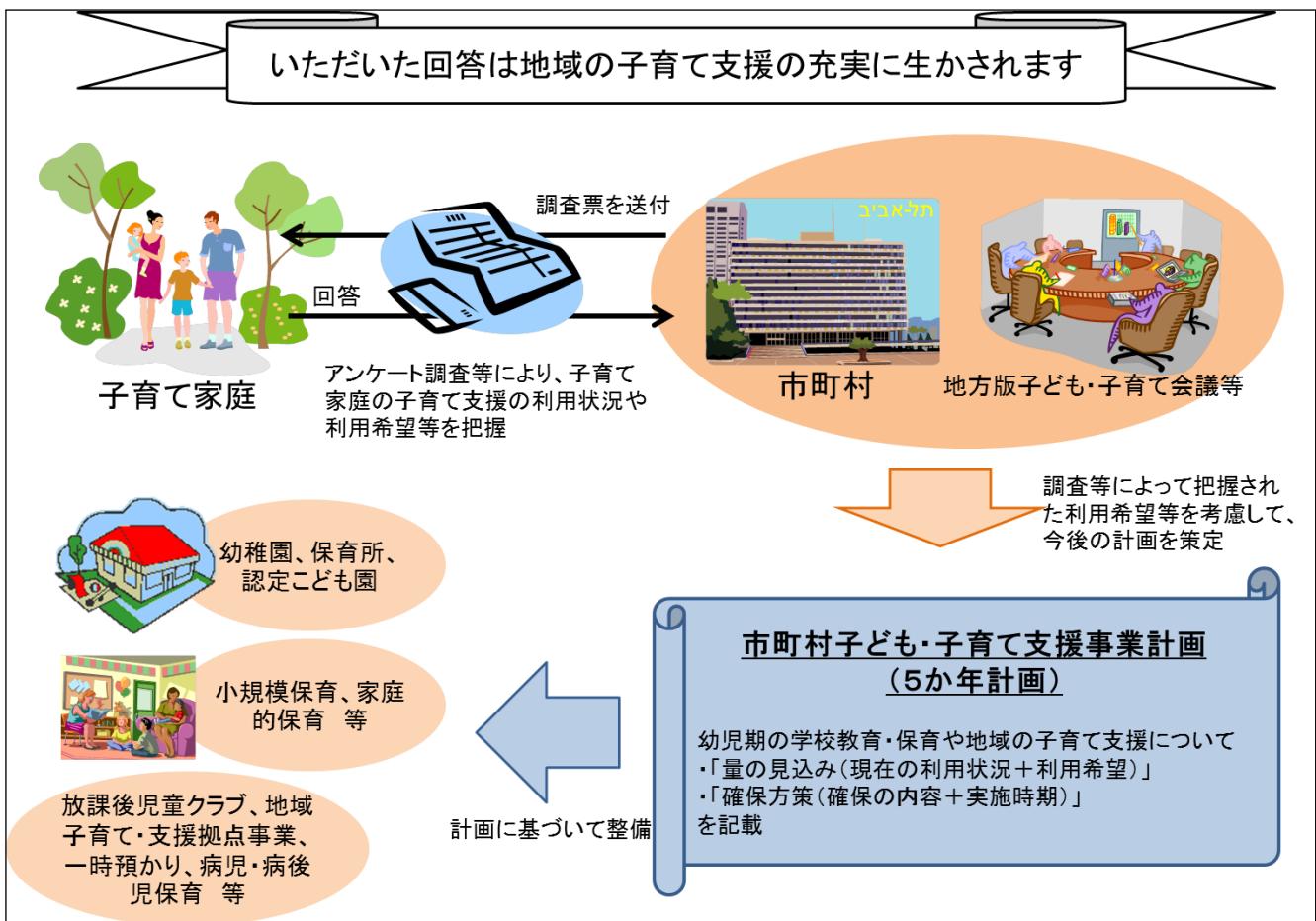
流山市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施する予定であります（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市町村が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していくだけで構いません。

また、この制度は、以下ののような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- ・**幼稚園**: 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・**保育所**: 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・**認定こども園**: 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・**子育て**: 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・**教育**: 問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1 大字流山	32 平和台5丁目	62 江戸川台東2丁目	92 前ヶ崎
2 流山1丁目	33 南流山1丁目	63 江戸川台東3丁目	93 向小金1丁目
3 流山2丁目	34 南流山2丁目	64 江戸川台東4丁目	94 向小金2丁目
4 流山3丁目	35 南流山3丁目	65 江戸川台西1丁目	95 向小金3丁目
5 流山4丁目	36 南流山4丁目	66 江戸川台西2丁目	96 向小金4丁目
6 流山5丁目	37 南流山5丁目	67 江戸川台西3丁目	97 名都借
7 流山6丁目	38 南流山6丁目	68 江戸川台西4丁目	98 駒木
8 流山7丁目	39 南流山7丁目	69 若葉台	99 駒木台
9 流山8丁目	40 南流山8丁目	70 こうのす台	100 青田
10 流山9丁目	41 大字深井新田	71 富士見台	101 十太夫
11 大字加	42 大字平方村新田	72 富士見台1丁目	102 美田
12 加1丁目	43 大字西深井	73 富士見台2丁目	103 東初石1丁目
13 加2丁目	44 大字東深井	74 宮園1丁目	104 東初石2丁目
14 加3丁目	45 大字平方	75 宮園2丁目	105 東初石3丁目
15 加4丁目	46 美原1丁目	76 宮園3丁目	106 東初石4丁目
16 加5丁目	47 美原2丁目	77 思井	107 東初石5丁目
17 加6丁目	48 美原3丁目	78 中	108 東初石6丁目
18 大字三輪野山	49 美原4丁目	79 芝崎	109 西初石1丁目
19 三輪野山1丁目	50 大字中野久木	80 古間木	110 西初石2丁目
20 三輪野山2丁目	51 北	81 前平井	111 西初石3丁目
21 三輪野山3丁目	52 大字小屋	82 後平井	112 西初石4丁目
22 三輪野山4丁目	53 大字上新宿	83 市野谷	113 西初石5丁目
23 三輪野山5丁目	54 大字上新宿新田	84 野々下1丁目	114 西初石6丁目
24 大字西平井	55 大字南	85 野々下2丁目	115 松ヶ丘1丁目
25 大字鰐ヶ崎	56 大字桐ヶ谷	86 野々下3丁目	116 松ヶ丘2丁目
26 鰐ヶ崎	57 大字谷	87 野々下4丁目	117 松ヶ丘3丁目
27 大字木	58 大字上貝塚	88 野々下5丁目	118 松ヶ丘4丁目
28 平和台1丁目	59 大字下花輪	89 野々下6丁目	119 松ヶ丘5丁目
29 平和台2丁目	60 大字大畔	90 長崎1丁目	120 松ヶ丘6丁目
30 平和台3丁目	61 江戸川台東1丁目	91 長崎2丁目	121 西松ヶ丘1丁目
31 平和台4丁目			

封筒の宛名のお子さんとご家族の状況 についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんは小学何年生ですか。当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 2. 2年生 | 3. 3年生 | 4. 4年生 |
| 5. 5年生 | 6. 6年生 | | |

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数	□人	末子の生年月	平成 □□年 □□月生まれ
--------	----	--------	---------------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他() |
|----------|---------|---------|----------|-----------|

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------------|--------|--------------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 小学校 |
| 6. 放課後児童クラブ | 7. 児童館 | 8. その他（
） | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|--------|--------------|--------|-------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 小学校 | 4. 放課後児童クラブ |
| 5. 児童館 | 6. その他（
） | | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもいない | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（
） | ⇒ 問10へ |

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（
） |

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|
| 1. いる／ある | ⇒ 問10-1へ | 2. いない／ない | ⇒ 問11へ |
|----------|----------|-----------|--------|

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援施設（地域子育て支援拠点、
児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 小学校教員 |
| 7. 放課後児童クラブの指導員 | 8. 児童館 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 自治体の子育て関連担当窓口 | 12. その他 〔【例】ベビーシッター〕 |

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
産休・育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
産休・育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない
- ⇒ (1)-1へ
- ⇒ (2)へ

(1)-1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 適当たりの「就労日数」、
1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない
場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に
に入る前の状況についてお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

1週当たり □日 1日当たり □□時間

(1)-2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻を
お答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産
休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）
08時～18時のように、24時間制でお答えください。（□内に数字でご記入ください。数字は一
枠に一字。）

家を出る時刻 □□時 帰宅時刻 □□時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、
育休・介護休業中ではない
 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、
育休・介護休業中である
 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
 6. これまで就労したことがない
- ⇒ (2)-1へ
- ⇒ 問14へ

(2) -1 (2) で「1. ~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり 日

1日当たり 時間

(2) -2 (2) で「1. ~4.」(就労している) に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時~18時のように、24時間制でお答えください(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。

家を出る時刻 時

帰宅時刻 時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい
3. すぐでも、もしくは1年内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが □□歳になったころに就労したい
3. すぐでも、もしくは1年内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり 日 1日当たり 時間

宛名のお子さんの放課後児童クラブの利用状況及び 放課後の過ごし方についてうかがいます。

※放課後児童クラブ…地域によって学童クラブなどと呼ばれています。保護者が就労等により戸籍家庭にいない場合などに、指導員の下で子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問15 宛名のお子さんは現在、放課後児童クラブを利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ

2. 利用していない ⇒ 問15-3へ

問15-1 問15-1～問15-2は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童クラブをどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）、小学何年生まで利用したいかを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在

1週当たり □日 1日当たり □□時間 (□□時～ □□時)

(2) 希望

1週当たり □日 1日当たり □□時間 (□□時～ □□時)

小学校 □年生まで利用したい

問15-2 放課後児童クラブを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
2. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
3. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
4. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
5. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
6. その他 ()

問 15-3 問 15-3～問 15-5 は、問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 他の施設に預けている
5. 子どもは放課後の習い事をしている
6. 放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う
7. 放課後児童クラブがあることを知らなかった
8. 近くに放課後児童クラブがない
9. 放課後児童クラブに空きがない
10. 経済的な理由で利用できない
11. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
12. その他 ()

問 15-4 宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。利用したい場合、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)、小学何年生まで利用したいかを、□内に具体的な数字でご記入ください(数字は一枠に一字)。時間は、必ず (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

1. 利用したい 1週当たり □日 1日当たり □□時間 (□□時～ □□時)
小学校 □年生まで利用したい
2. 今後も利用しない

問 15-5 放課後児童クラブを利用したい理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
2. 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である
3. 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している
4. 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある
5. 子育て(教育を含む)をしている方が学生である／就学したい
6. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
7. その他 ()

問16 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. 自宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
4. 児童館 ※1	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週	<input type="checkbox"/>	日くらい → 下校時から □□時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週	<input type="checkbox"/>	日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週	<input type="checkbox"/>	日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用している場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な放課後児童クラブの利用希望についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（1）土曜日

- 1. 利用する必要はない
 - 2. ほぼ毎週利用したい
 - 3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

（2）日曜・祝日

- 1. 利用する必要はない
 - 2. ほぼ毎週利用したい
 - 3. 月に1～2回は利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

問17-1 問17の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 月に数回仕事が入るため
- 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3. 親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他（ ）

問18 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 1. 利用する必要はない
 - 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
 - 3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- ⇒ 利用したい時間帯
□□時から □□時まで

問18-1 問18で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 週に数回仕事が入るため
- 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
- 4. 息抜きのため
- 5. その他（ ）

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況 についてうかがいます。

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①家庭教育に関する学級・講座（公民館での家庭教育講座等）	はい　　いいえ	はい　　いいえ	はい　　いいえ
②教育支援センター・教育相談	はい　　いいえ	はい　　いいえ	はい　　いいえ
③児童館・児童センター	はい　　いいえ	はい　　いいえ	はい　　いいえ
④子育ての総合相談窓口（家庭児童相談）	はい　　いいえ	はい　　いいえ	はい　　いいえ
⑤自治体発行の子育て支援情報誌（子育てガイドブック）	はい　　いいえ	はい　　いいえ	はい　　いいえ
⑥市のホームページ	はい　　いいえ	はい　　いいえ	はい　　いいえ
○○○○○	はい　　いいえ	はい　　いいえ	はい　　いいえ

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問20 全ての方にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった

⇒ 問20-1へ

2. なかつた

⇒ 問21へ

問20-1 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかつた場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ケ. その他（ ）	□□ 日

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

→ 問20-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□日 ⇒ 問20-3へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問20-4へ

問20-3 問20-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
- 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
- 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
- その他（ ）

⇒ 問21へ

⇒ 問20-5へ

問20-4 問20-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に見てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 親が仕事を休んで対応する |
| 7. その他（
） | |

⇒ **問21へ**

問20-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問20-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号_1_つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

- | | |
|--|-----------------|
| 1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 曰 | ⇒ 問21へ |
| 2. 休んで看ることは非常に難しい | ⇒ 問20-6へ |

問20-6 問20-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 子どもの看護を理由に休みがとれない | 2. 自営業なので休めない |
| 3. 休暇日数が足りないので休めない | 4. その他（
） |

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を

伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問21 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（およそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

利用している事業・日数（年間）		
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="checkbox"/>	□ □ 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	<input type="checkbox"/>	□ □ 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="checkbox"/>	□ □ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="checkbox"/>	□ □ 日
5. ベビーシッター	<input type="checkbox"/>	□ □ 日
6. その他 ()	<input type="checkbox"/>	□ □ 日
7. 利用していない		

⇒ 問22へ

問21で「7. 利用していない」と回答した方につきうかがいます。

問21-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
わからない | 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない |
| 9. その他 () | |

問22 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 <input type="checkbox"/> □ □ 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="checkbox"/> □ □ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	<input type="checkbox"/> □ □ 日
ウ. 不定期の就労	<input type="checkbox"/> □ □ 日
エ. その他 ()	<input type="checkbox"/> □ □ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問23へ	

問22-1へ

問 22-1 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	
5. ベビーシッター	
6. その他 ()	

問 23 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あつた場合は、この 1 年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1 年間の対処方法	日数
1. あつた	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業) ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等） を利用した エ. 仕方なく子どもを同行させた オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた カ. その他 ()	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 泊
2. なかつた		

問 23 で「1. あつた ア.(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 23-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|----------|---------------|-------------|
| 1. 非常に困難 | 2. どちらかというと困難 | 3. 特に困難ではない |
|----------|---------------|-------------|

**すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。**

問24 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください（数字は一枠に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所（園）などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてももらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他（
 ）

問24-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 2. 育児休業給付のみ知っていた 3. 保険料免除のみ知っていた 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった
--

問 24 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問 25 へ

問 24-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

- 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
- 2. 現在も育児休業中である
- 3. 育児休業中に離職した

問 24-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 24-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

(2) 父親

- 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2. それ以外だった

問 24-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

(2) 父親

実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月	希望	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月
---------	---	----	---

問 24-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

(2) 父親

<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月

問 24-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 24-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 24-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 24-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用了 |
| 3. 利用了かったが、利用しなかった（利用できなかった） |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった） |
| 2. 利用了 |
| 3. 利用了かったが、利用しなかった（利用できなかった） |

問 24-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 24-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()

問 24-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 24-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい

問25 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い ← → 満足度が高い				
1	2	3	4	5

問26 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

----- ----- ----- -----

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。